



市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 38

おもな内容

- 特集／予算特別委員会 —— 2~3
- 議案審議 —— 4
- 常任委員会報告 —— 5~8
- 代表質問 —— 9~11
- 一般質問(18名が問う) —— 12~21
- 特別委員会の動き —— 22
- 組合議会の動き —— 23
- こうか再発見 Vol.10 —— 24



算353億5千万円 4日間集中審査

平成26年度甲賀市一般会計予算は、去る3月5日の本会議において予算特別委員会に付託され、3月13日、14日、17日、18日の4日間にわたり委員会を開催し、執行部の説明を求め慎重なる審査を行いました。

《主な質疑》

総務部

問 人件費の今後の見通しで予算は減っていくが、人員についてどう考えるか。
答 人件費は平成27年度までの定員適正化計画を反映し、退職手当の状況等を加味して微減する。

問 投資的経費は、合併後の平成30、31年度はどう考えるのか。
答 合併特例債は庁舎、甲南駅、給食センター、水口体育館等を考えており、平成27、29年度がピークである。平成30、31年度も活用するが、建設のピークは過ぎていると考える。

問 財政調整基金は、今後積立して貯めていくのかどうか。
答 財政調整基金は、標準財政規模24.0億円の内、

10%が確保しているもので、ほとんど積み立てるつもりはない。財政調整が目的であるので、必要に応じて積み増しもする。

総務部

問 コミュニティバス無料乗車券について、80歳以上と障がい者が対象で予算は1千万円とされているが積算根拠は何か。
答 対象者は80歳以上が6,942名、障がい者が3,805名であり、そのうち約1割の方が1日1往復を月2回、12か月利用するとして積算した。

問 あいコムごうかの、長期借入の2億円や短期借入1億円の返済について。

答 あいコムごうかが確実に事業運営を行うことが重要となり、2億円の貸付のうち、1億円は市が短期で貸し付けている1億円返済のための民間資金からの借入の返済に充てる予定である。

問 あいコムごうかの経営責任、市との関わりについて問う。
答 あいコムごうかは資本金の3分の1（1千万円）を市が出資している法人であり、取締役14名のうちには副市長も入っており、市としても、財務状況など監査対象となる

り報告義務や調査権がある。市の51億円の事業成果は、運営するあいコムごうかが確実に事業運営を行うことである。

市長直轄組織

問 AEDは158ヶ所公共施設へ設置された。いざ使用する時、職員救命講習が大事である。今後全職員が研修を受けるのか。
答 平成24年度3回実施127名受講、1,285人のビデオ研修も実施し平成25年度66名受講。更新時に研修を開く形で実施したい。消防署の普通救命講習でも約30人の受講員講習をかけている。総合防災訓練でも参加者に体験していただいた。

健康福祉部

問 子ども・子育て応援団支援事業計画策定業務委託とそれ以外の予算の内訳は。
答 計画策定は今年度途中から始めている。新年度は主に計画策定で事業はそれ以外になるので、それ以外の降は委員報酬等である。事業実施は含まれていない。

市民環境部

問 同和予算について副市長から削減しているとの答弁があったが、中身について問う。
答 学力向上推進補助に漢検・英検補助は全員対象か。
答 学力向上推進補助に漢検・英検補助は全員対象だが、語検定も全員が対象だが、受ける級については個人が選ぶかたちをとる。



限に5万円を加算する。補正は考えていない。

問 観光トイレについて、将来的にどれぐらいの数を計画しているのか。また市が直営で管理している数はいくらか。
答 現在、直営管理13施設（管理委託、主に紫香楽宮、信楽庁舎横、朝宮国道307号、大池寺近く八幡神社、忍術屋敷、飯道山等である。今後は、入込客の動向、賑わい再生検討委員会での調査を踏まえ整備計画を立てていきたい。

問 市営住宅の建設計画はどの程度進んでいるのか。
答 平成25年度は整備促進に向けたシンポジウムを開催した。これを受けて滋賀国道工事事務所が中心となり改めて検討作業を進めており、市は沿ったかたちで整備効果の企業アンケートを実施している。また、平成25年度は300万円、平成26年度も同程度を見込んでいる。

建設部

問 市営住宅の建設計画はどの程度進んでいるのか。
答 平成25年度は整備促進に向けたシンポジウムを開催した。これを受けて滋賀国道工事事務所が中心となり改めて検討作業を進めており、市は沿ったかたちで整備効果の企業アンケートを実施している。また、平成25年度は300万円、平成26年度も同程度を見込んでいる。

平成26年度 一般会計予

問 障がい者計画、障がい者福祉計画策定業務委託の中心については。
答 平成26年度は計画策定委員会を委嘱し今後6年間における計画を定める。いくつかの項目について計画し当事者及び市民に意見を聞きながら進める。

産業建設部

問 住宅リフォーム助成制度について、新規対象拡大による従前競争率への影響、拡大枠の内容、内訳、設置理由、また申請が多いと補正は考えているか。
答 25年度は競争率が5倍、26年度重点事項は子育てで、75歳以上高齢者、障がい者世帯に優先的に上限20万円を実施。一般世帯は上限15万円に下げた。地元木材使用の「びわ湖材」を一定以上使用される場合は上

予算特別委員会委員

(議席番号順)

(委員長)	服部 治男	(副委員長)	田中 新人
竹村 貞勇	竹若 茂樹	戎脇 浩	久生 直明
林田 久充	小西喜代次	森田 安井	
田中 実	的場 計利		
白坂萬里子	中西弥兵衛		

教育委員会

問 学力向上補助金で漢検・英検補助は全員対象か。
答 学力向上推進補助に漢検・英検補助は全員対象だが、語検定も全員が対象だが、受ける級については個人が選ぶかたちをとる。

問 信楽高校地域支援協議会補助金の100万円の支援内容は。
答 全国募集に向けたPRのため、パンフレット作成、発送等をされている。全国学生徒への家賃補助等は産業経済部で360万円計上している。

問 教育施設補修工事があげられているが、計画的にされているのか。単年だけでなく2、3年先の計画を示すべきでは。
答 各校からの要望に対しては、即時対応が必要なもの優先に行っている。大規模改修については計画に基づき行っているが、修繕全体にかかる計画はない。全体を見渡しながら優先順位をつけ

問 学力向上補助金で漢検・英検補助は全員対象か。
答 学力向上推進補助に漢検・英検補助は全員対象だが、語検定も全員が対象だが、受ける級については個人が選ぶかたちをとる。

問 信楽高校地域支援協議会補助金の100万円の支援内容は。
答 全国募集に向けたPRのため、パンフレット作成、発送等をされている。全国学生徒への家賃補助等は産業経済部で360万円計上している。

問 教育施設補修工事があげられているが、計画的にされているのか。単年だけでなく2、3年先の計画を示すべきでは。
答 各校からの要望に対しては、即時対応が必要なもの優先に行っている。大規模改修については計画に基づき行っているが、修繕全体にかかる計画はない。全体を見渡しながら優先順位をつけ

賛成討論

予算編成方針を基に、プレイヤーバランスを確保しながら安心した財産の中で市民の安心、安全を守る積極的な予算と考える。予算執行に当たっては様々な問題提起も挙がっている中で、中長期的な観点から執行上での検討を期待し、現時点で考えられる範囲でバランスよく予算を組みたいと考える。以上の点から本予算は適切であり賛成とする。

反対討論

四つのテーマにある「稼ぐ」は自治体には馴染まないのではないか。地域情報基盤整備事業の2億円貸付も当初の資金計画に甘さがあるのでは。道路パトロールについては臨時職員でなく正規で採用すべきである。住宅リフォームは対象者でなく、総枠を増額すべき。福祉を重視することが求められている中で、住民の願いにこたえるには十分な予算であることから反対の討論とする。

議会で審議したもの

条例・予算・意見書・他

47議案 慎重審議

平成26年後予算案などを審議する3月定例会は2月24日から3月26日までの31日間にわたり開会されました。予算12件、条例13件、補正7件、意見書8件、その他7件、全47件に対し慎重に審議しました。その主な内容は次の通りです。

○より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様様をご覧いただけます。
<http://www.city.koka.shiga.jp/>

議決結果

- ▼予算12件
 - 各委員会報告参照
 - 一般会計予算（別表）
 - 特別会計予算（別表）
- ▼条例13件
 - 11件全員賛成で可決、甲賀市子どもいじめ防止条例の制定も1件は賛成多数で可決
 - ▼財産の処分
 - 3件全員賛成で可決
 - ▼市道路線の認定
 - 1件全員賛成で可決
 - ▼契約2件
 - 全員賛成で可決
 - ▼意見書8件（別表）

条例制定

◆甲賀市子どもいじめ防止条例の制定について
全国的に学校におけるいじめ問題が大きな社会問題となっている状況を踏まえ、子どもが安心して生活し、健やかに成長することができるといじめのないまちの実現をめざすための条例賛成多数で可決

議員提出議案

●議案第1号
「甲賀市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」
全員賛成で可決

臨時会

（平成26年1月20日）
◆平成25年度甲賀市一般会計補正予算（第6号）
台風18号集中豪雨により流出した信楽高原鐵道袖川橋りょう等の復旧工事費及びその財源となる国庫補助金等の追加計上により、歳入歳出予算にそれぞれ6億2,210万円を追加し、歳入歳出予算総額を36億8,492万円とするもの。
全員賛成で可決

○：賛成 ●：反対

議案名	採決結果	付託された委員会	賛成					反対				
			清風	市民	公明	日本共産	無党派	無党派	無党派	無党派	無党派	
平成26年度甲賀市一般会計予算	多数可決	予算特別委員会	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市土地取得事業特別会計予算	全会一致可決	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市国民健康保険特別会計予算	多数可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算	多数可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市介護保険特別会計予算	多数可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市介護老人保健施設事業会計予算	全会一致可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市病院事業会計予算	全会一致可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市診療所事業会計予算	全会一致可決	民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市公共下水道事業特別会計予算	全会一致可決	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致可決	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度甲賀市水道事業会計予算	全会一致可決	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算	全会一致可決	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案名	提案者	可否	討論		清風	市民	公明	日本共産	無党派	無党派
			賛成	反対						
過疎化対策の積極的推進を求める意見書の提出について	橋本恒	可決	討論なし		○	○	○	○	○	○
本年4月からの消費税増税を中止するよう求める意見書の提出について	安井	否決	山岡	橋本律	●	●	●	●	●	●
特定秘密保護法の撤回を求める意見書の提出について	安井	否決	小西	服部	○	○	○	○	○	○
安心を保障する介護保険制度を求める意見書の提出について	山岡	否決	小西	橋本恒	●	●	●	●	●	●
雇用促進住宅入居者の入居継続を求める意見書の提出について	山岡	否決	安井	林田	●	●	●	●	●	●
集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書の提出について	小西	否決	安井・竹村	森田・田中将	●	○	●	○	●	○
初井勝人NHK会長の辞任、百田高樹・長谷川三千子NHK経営委員会委員の罷免を求める意見書の提出について	小西	否決	山岡	戎腸	●	●	●	○	●	○
通学中の子どもの安全確保を求める意見書の提出について	土山	可決	討論なし		○	○	○	○	○	○

委員会報告

総務常任委員会

付託議案

土地取得事業特別会計予算可決 「遊休土地の有効活用推進を！」

当委員会に付託された平成26年度甲賀市土地取得事業特別会計予算について、3月20日委員会を開催し、慎重に審査しました。

※本会計は、土地の先行取得により事業を円滑に推進するために設けられた会計で、採決の結果、全員賛成にて可決すべきものと決定しました。

答 質料は固定資産評価額の6%を採用。尚、固定資産の評価替への時期は変更する。問 土地台帳整備の進捗状況はどうか。答 昨年約3万8千筆を調査し、現在200筆の不明地がある。今後、地権者等に立ち会いを求め、一筆ずつ確認していく必要がある。26年度はさらに遊休土地の財源確保に向け、進めたい。

- （歳入）
- ◎土地貸付収入 168万9千円
- ◎土地開発基金運用収入 150万1千円
- （歳出）
- ◎土地取得事業費 120万円

所有する土地の管理経費（危険木伐採・除草の業務委託経費）

主な質疑・回答
問 土地貸付にかかる貸付額の基準はあるのか。

答 意匠として市内には昭和40・50年代に開発さ



所管事務調査

2月21日および3月20日に委員会を開催し、所管事務調査の報告内容について質疑を行いました

甲賀市税・料金等収納向上対策強化3ヶ年計画チャレンジ28プランの策定。本年3月末終了のチャレンジ25プランの検証課題。

◎大半の税・料金等で現年度の収入率が改善されているが、過年度分収納率が低い。

◎過年度分における徴収及び滞納処分等の債権管理の徹底が必須。以上の分析をもとに取率向上・滞納削減に向けた新たな挑戦等の取り組み目標が示されました。具体的には、組織一体となった取り組みの推進・納付啓発・コンビニ収納等の周知・納付相談等強化

との説明でした。

甲賀警察署の土地の取得 現在の甲賀警察署の著しい老朽化に伴う移転並びに新築の計画が進められています。そこで、県との協議を経て、現在の甲賀警察署跡地を、市が買収し、今後、有効に公共施設として活用するため、先行取得をします。

甲賀市 新甲賀警察署が完成するまでの間、現建物・土地を県に無償で貸し付けることとします。その他、地域情報化基盤整備事業等の報告がありました。

セーフコミュニティ推進事業 「市民の安全向上を目的とした研究と予防に力点を置く取り組み」平成24年度より市

老朽化著しい、現甲賀警察署



総合計画、財政、自治振興、危機管理に関わる委員会です。

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

付託議案

特別・企業会計予算原案どおり可決
当委員会は、3月20日に付託された特別会計予算・事業会計予算6議案を慎重に審査しました。

国民健康保険

特別会計予算

国民健康保険者の見込みを1万2,300世帯、被保険者数2万1,800人、医療費の伸び率を2.8%と見込んでいて、歳入歳出予算は、対前年度比3.7%増の90億3,000万円となっています。

特定健診受診率の目標率についてどうすれば高まると考えているか。
答 現在は未受診者対策として40、64歳の方を対象に通知を送っていたが、次年度は40、74歳に広げて通知を送る。また、電話による案内を行う予定である。

賛成討論

予防の観点から特定健診について、現予算では、6月の本算定には入る。反対討論 本予算は所部であるが、市民環境部では、健康福祉部、取納の関係では総務部とそれぞれの部局間連携が必要になるが、現在の体制は不十分と考える。

後期高齢者医療

特別会計予算

本市の対比は、6月の本算定には入る。反対討論 本予算は所部であるが、市民環境部では、健康福祉部、取納の関係では総務部とそれぞれの部局間連携が必要になるが、現在の体制は不十分と考える。

賛成討論

予防の観点から特定健診について、現予算では、6月の本算定には入る。反対討論 本予算は所部であるが、市民環境部では、健康福祉部、取納の関係では総務部とそれぞれの部局間連携が必要になるが、現在の体制は不十分と考える。



後期高齢者医療 本予算の対象となる75歳以上の被保険者数を1万1,400人。対前年度比は1.5%増となっています。歳入歳出総額は、17億1,500万円と、対前年度比4.4%増です。後期高齢者の保険料徴収についての状況や滞納の理由はどのようか。滞納されている方は、居所不明者や施設入居者、特別徴収から普通徴収への変更があった方であると把握

所管事務調査

クリーンセンター 施設の工事見学

25年度工事進捗状況説明と、廃棄物搬入状況等問題なく運営されていることの報告を受けました。

大なる増加となつてい
ます。平成25年度は、
24年度からの3カ年計
画・第5期介護保険事
業計画・高齢者福祉計
画の最終年次となりま
す。

歳入歳出予算総額は、58億2,400万円、昨年と比較して4億5,200万円増の約8.4%の伸びとなっています。

いっきいき100歳 体操の推進についてどうか。
答 内容は、足腰の筋力強化、転倒予防と集団で行う体操のため地域づくりに繋がるものと考えている。

賛成討論

現状は急激に高齢化が進む中、一定負担の増が出来ることにはやむをえない部分がある。高齢化が進む中、一定負担の増が出来ることにはやむをえない部分がある。高齢化が進む中、一定負担の増が出来ることにはやむをえない部分がある。

賛成討論

介護保険料を払っているのに十分なサービスが受けられないか。

介護老人保健施設事業会計予算 全員賛成で可決すべきものと決定しました。

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

付託議案

「甲賀市子どものいじめ防止条例」を審査

当委員会は、いじめを防止し、子どもたちが安心して学び、成長できる環境を整えることはすべての市民が取り組むべき重要課題として慎重に審査しました。

当委員会では、3月20日に委員会を開催し、「甲賀市子どもいじめ防止条例」の制定について、執行部から説明を求めました。

この条例は、いじめの防止のための施策の基本となる事項を定めることにより、子どもが安心して生活し、健やかに成長することが出来るいじめのないまちの実現をめざすことを目的とし、いじめ防止推進法（平成25年法律第71号）の趣旨を踏まえ、いじめの防止のための施策の基本となる理念を定めたものであることです。

主な質疑について

問 いじめのないまちの実現との意味は。

答 これは、市民全体でいじめの対策に取り組んでいこうとするものであり、「いじめのないまちの実現をめざす」という表現にしたものである。

問 学校とは、本市の区域内にあるすべての学校が対象となるのか。

答 推進法に準じて制定されるが、学校の定義は、今後、策定される基本方針に詳しく盛り込む予定である。

問 子どもたちへの周知方法は、どのように考えているのか。

答 広報紙での周知のほか、発達段階に応じて学校等で適切に進める。

問 「甲賀市子どものいじめ問題対策委員会」と「甲賀市子どものいじめ調査委員会」の2つの組織を作ることは、責任の所在を曖昧にすることとならないか。

答 教育委員会と市長部局の別の附属機関であり、役割も異なるものである。

問 基本方針のポイントは何か。

答 基本方針では、防止のための方法、早期発見の方法、早期解決の方法、関係機関との連携や啓発活動、学校相互間の連携、さらに重大事態への対応などを明確にする。

問 広く市民の意見を聞かないか。

答 この条例を制定後、早い時期に検討し、基本方針制定時にパブリックコメントで広く意見を聞く。

問 重大事態の定義は。

答 推進法第28条に規定される、児童生徒の生命・心身の危険、金品財産の被害、いじめにより相当の期間休む場合、その他保護者から申し出によるものなどである。

問 質疑のあと、採決に入り討論はなく、全員賛成で本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



委員会の様子



遊び風景



登校風景

甲賀市子どものいじめ防止条例(前文)
すべ、それぞれが一人の人間としてのかげがえのない存在であり、次代の社会を担う大切な宝です。
子どもたちの心と体に苦しみや痛みをもたらすいじめは、子どもたちが人間として尊重され成長する権利を著しく侵害するものです。このようにいじめを防止し、子どもたちが安心して学び成長できる環境を整えることが、すべての市民が協働して取り組むべき重要な課題です。
互いの生命の尊重を基盤としたまちづくりに向けて、いじめを許さない文化と風土を社会全体でつくりあげることを決意し、いじめ防止についての基本理念のもと、いじめ防止のための施策を推進することが必要です。子どもが安心して生活し、健やかに成長することが出来る、いじめのないまちの実現をめざし、ここに甲賀市子どものいじめ防止条例を制定します。

各会派による 代表質問

目次
平成26年3月3日

平成26年 第2回甲賀市議会定例会代表質問

順番	氏名	質問事項
1	服部 治男 (清風クラブ)	1 市長の施政方針について ①財政基盤の構築について ②主要施策から
2	白坂 万里子 (公明党 甲賀市議団)	1 施政方針ならびに平成26年度予算(案)と諸課題について ・臨時福祉給付金・特例給付金の申請手続き及び支給日は ・市制10周年の記念事業に向け、どのような展望で今後に生かすのか ・予算編成(案)について ・財政健全化について ・庁舎整備について ・地域包括ケアシステムの構築について ・がん対策について ・女性の働き方・出産後ケアの支援を
3	土山 定信 (市民クラブ)	1 施政方針および平成26年度予算編成について ①「生活感幸 加速 甲賀の國づくり」の内容について ②地域情報化推進事業について ③新庁舎改築の省エネ対策について ④来年度予算計上がない学校給食センター建設事業の経緯 ⑤地域の就職活動支援について ⑥(仮称)甲賀北地区土地利用調査検討業務委託の詳細は ⑦通学路の安全について ⑧橋梁の安全と道路施設について ⑨新公会計について 2 新技術を学ぶ職員研修について
4	安井 直明 (日本共産党 甲賀市議員団)	1 暮らしや平和の問題で暴走する安倍政権に対し、市民を守る立場から市長の所見を問う 2 合併して10年目を迎える、甲賀市政の総括と今後について 3 施政方針を受け平成26年度予算を問う 4 市民の願い実現を ①旧甲賀病院跡地は、福祉等の総合施設を ②安全な市道山柳谷線に ③通行できる岩上橋に

委員会報告

産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

付託議案

上水道・下水道事業等の 特別会計予算を審査

当委員会は3月20日に委員会を開催し、平成26年度公共下水道事業特別会計など、付託された4件の案件について慎重に審査しました。

公共下水道事業

特別会計予算
平成26年度の本特別会計の予算総額は35億9,800万円です。前年度と比較し2億700万円の増額となっており、対前年度比6.1%の増です。

一般会計からの繰入金の基準についての質問もありました。

農業集落排水事業

特別会計予算
平成26年度の本特別会計の予算総額は7億3,400万円です。対前年度比15・3%、1億3,300万円の減額となっています。

水道事業会計予算

その主な要因は朝宮地区整備工事の進捗による建設費の減少等によるものです。主な質疑では、過年度の分担金と使用料についての質問があった他、将来の公共下水道への接続についても質問がありました。

所管事務調査

平成25年度主要事業と新名神高速 道路の進捗状況について調査

わたり質問が出され、また、過年度分の滞納額や県用水の取水率、健全経営のため

の考え方などについての質問も出されました。以上4件について、慎重に審査し、採決の結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定しました。

結果、全員賛成により原案どおり可決すべきものと決定しました。



岩室浄水場で説明を受ける

災害復旧工事予定の山田池



岩室浄水場で説明を受ける



災害復旧工事予定の山田池

1月30日に委員会を開催し、今年度の主要事業の進捗状況について執行部から説明を受け、災害復旧工事の山田池(水口町)と毛枝地区急傾斜地崩壊対策工事(甲賀町)、希望ヶ丘地区浄化槽撤去状況(甲南町)、岩室浄水場(甲賀町)について現地調査を行いました。



霧の中ネクスコ中日本から説明を受ける

その後、三重県地先で進んでいる新名神高速道路工事の進捗状況について現地調査を行い、野登トネル西抗口と四日市JCTにおいてネクスコ中日本から説明を受けました。東名阪の渋滞緩和等を目的に整備が進められている新名神高速道路は平成27年度に一部供用開始、平成30年度に全線が開通する予定です。

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

市長の施政方針について

清風クラブ



服部 治男

問 歳入確保の為に更なる財政基盤の構築については。

市長 持続可能な市政運営を行うべく、これまでには雇用や財政基盤の強化が不可欠、新たに産業用地等の基盤整備を図るため(仮称)甲賀北地区において調査エリアを設定、権利調査、区画整理設計等、を踏まえながら、地権者への説明会や意向調査と、課題となる事業主体の検討を行う。

問 市税、料金の悪質

市長 取納率向上と滞納繰越し削減を目標に組織一丸となって取り組む為に、議員ご提案の滞納専門職の雇用は

問 情報化推進事業

市長 本年度の工事費が5億7千万円、来年度工事予算も5億5千万円となっているが、工事は予定通り進んでいるのか。

問 総合政策部長

市長 地域情報化事業は、4カ年計画であったが、電柱等の使用の許可等に時間を要し、工事が遅れて一年延ばし、5カ年計画とした。

問 庁舎整備事業は、

市長 庁舎整備事業は、貸付金の2億円が必要となった。経営の安定は、あいコムこうかの営業活動にかかっていると考える。

問 庁舎新築したから、

市長 庁舎新築したから、

問 移設サービス事業

市長 公共交通機関の利用出来ない人、介護保険度6段階以下の人の通院に家族近所に負担を掛けることなく、より多くの人に利用できるような実施に向け前向きな検討をする。

チャレンジ28プランの目標達成と合致し、積極的に推進し滞納債権の回収につとめる。

問 施政方針から庁舎

市長 老朽著しい甲賀大原センターは平成28年度を目途に、甲南庁舎の耐震補強改修、信楽市民センターの整備は他の庁舎や予算配分を考慮し、平成29年度から30年度を目途に進める。地元貢献度については地域経済の復興や雇用の維持の観点からも地元企業の受注機会確保を図ることが

問 25年度予算で

市長 25年度予算で

問 橋梁長寿命化修繕

市長 橋梁長寿命化修繕

問 新年度、見直しは

市長 新年度、見直しは

問 今後の合併特例債

市長 今後の合併特例債

問 副市長

市長 副市長

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う

大切である。その為にも地元業者と大手業者の共同企業体を条件とする方法や地元企業が入札参加出来るような可能な限り分離発注も検討する。

問 橋梁長寿命化修繕

市長 橋梁長寿命化修繕

問 新年度、見直しは

市長 新年度、見直しは

問 今後の合併特例債

市長 今後の合併特例債

問 副市長

市長 副市長

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う

問 山柳谷線の今後

市長 山柳谷線の今後

問 岩上橋は12月議会

市長 岩上橋は12月議会

公明党
甲賀市議員



白坂 萬里子

新年度予算及び、諸施策について問う

問 合併して10年、これ迄の市政運営「守る」「稼ぐ」「創る」に加え、「繋ぐ」を加えたおもしろいは。

市長 子どもの持つ可能性、世代間の思いやり、地域の人の和を繋ぐ姿に思いを込め、今やるべき事を当初予算に盛り込んだ。

問 予算編成にあたり

市長 予算編成にあたり

問 市制10周年の記念

市長 市制10周年の記念

問 地域包括ケアシ

市長 地域包括ケアシ

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う

問 山柳谷線の今後

市長 山柳谷線の今後

問 岩上橋は12月議会

市長 岩上橋は12月議会

統的發展などの視点で展開し、進歩・進化とするよう活かしていきたい。

問 臨時福祉給付金

市長 臨時福祉給付金

問 財政健全化につ

市長 財政健全化につ

問 地域包括ケアシ

市長 地域包括ケアシ

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う

問 山柳谷線の今後

市長 山柳谷線の今後

問 岩上橋は12月議会

市長 岩上橋は12月議会

問 今後の合併特例債

市長 今後の合併特例債

問 がん対策では、

市長 がん対策では、

問 産後ケア支援を

市長 産後ケア支援を

問 山柳谷線の今後

市長 山柳谷線の今後

問 岩上橋は12月議会

市長 岩上橋は12月議会

問 今後の合併特例債

市長 今後の合併特例債

問 副市長

市長 副市長

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

市民クラブ



土山 定信

施政方針および平成26年度予算編成について

問 情報化推進事業

市長 本年度の工事費が5億7千万円、来年度工事予算も5億5千万円となっているが、工事は予定通り進んでいるのか。

問 総合政策部長

市長 地域情報化事業は、4カ年計画であったが、電柱等の使用の許可等に時間を要し、工事が遅れて一年延ばし、5カ年計画とした。

問 庁舎整備事業は、

市長 庁舎整備事業は、貸付金の2億円が必要となった。経営の安定は、あいコムこうかの営業活動にかかっていると考える。

維持費が大きくなったのは困る。考えはどうか。

問 25年度予算で

市長 25年度予算で

問 橋梁長寿命化修繕

市長 橋梁長寿命化修繕

問 新年度、見直しは

市長 新年度、見直しは



新庁舎完成予想図

問 移設サービス事業

市長 公共交通機関の利用出来ない人、介護保険度6段階以下の人の通院に家族近所に負担を掛けることなく、より多くの人に利用できるような実施に向け前向きな検討をする。

問 橋梁長寿命化修繕

市長 橋梁長寿命化修繕

問 新年度、見直しは

市長 新年度、見直しは

問 今後の合併特例債

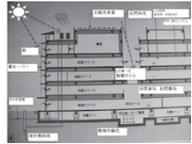
市長 今後の合併特例債

問 副市長

市長 副市長

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う



自然エネルギーを利用した新庁舎

日本共産党
甲賀市議員



安井 直明

国政問題、市制10周年、予算、道、橋を問う

問 国政問題で消費税増

市長 国政問題で消費税増

問 市制10周年を迎える

市長 市制10周年を迎える

問 企業進出に伴う

市長 企業進出に伴う



旧の甲賀病院



車両通行止め岩上橋

問 山柳谷線の今後

市長 山柳谷線の今後

問 岩上橋は12月議会

市長 岩上橋は12月議会

問 今後の合併特例債

市長 今後の合併特例債



車両通行止め岩上橋



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

問 新庁舎建設の際の障がい者への対応について。
総務部長 「人にやさしい庁舎」を掲げ、全館のバリアフリー化に加え、車イス対応の多機能トイレの設置を考えている。また、オストメイト対応のトイレや障がい者用駐車場、思いやり駐車場、車イス対応のエレベーター、窓口カウンターなどユニバーサルデザインに配慮した設計に努める。

問 正規・臨時職員の人数と割合は。
総務部長 平成25年度の正規職員は908人、臨時職員は228人、職員全体に占めるその割合は17・5%である。

問 女性登用に本格的に取り組んでいく。
市長 平成20年度に甲賀市男女共同参画計画を策定し審議会や委員会への女性登用比率目標を40%としているが、平成25年3月現在25・1%である。今後女性登用に本格的に取り組んでいく。



甲賀市ふれ愛風船バレーボール大会

問 正規職員の男女数は。
総務部長 男性職員440人、女性職員468人。

問 女性管理職の人数と比率は。
総務部長 平成25年度は60人、28・3%。



黄瀬下水道処理場



信楽地域市民センター

議員は選挙区内に暑中見舞い・年賀状などの挨拶状を出すことが禁止されています。

18人の議員が

市の考えを問う

一般質問

平成26年 第2回甲賀市議会定例会一般質問

平成26年3月7日・10日・12日

順番	氏名	質問事項
1	竹村 貞男	1 障がい者雇用ならびに障がい者に関わる諸問題について 2 非正規の公務員が急増していることについて 3 女性職員の登用について
2	小河 文人	1 庁舎及び地域市民センターの整備計画について 2 下水道整備計画について 3 県立信楽高校について
3	中西弥兵衛	1 行政改革大綱に基づく「職員適正化計画」の効果、影響に対するフォローについて 2 命の綱・本市地域消防団の確保の状況とその対策を問う
4	田中 新人	1 甲賀市の農業政策について 2 若者の自立支援について 3 草津線複線化について
5	田中 実	1 公金の管理・運用などについて 2 「ふるさと納税」について 3 野洲川・柚川の河川整備について
6	林田 久充	1 自治振興会の今後の展開と地域におけるまちづくりについて 2 交流人口の拡大と「観光」について 3 6次産業化を活かした食と農のまちづくりについて
7	山岡 光広	1 「要支援」など軽度の要介護者を介護保険制度から締め出そうとする動きについて 2 子ども子育て新制度に対する対応について 3 児童クラブの待機児童対策と新法への対応について 4 急増する特別支援を要する子ども達への対応、特に就学前の親子療育活動「こじか教室」について 5 新甲賀病院にかかわって ①懸案になっているバスタイヤなど改善を ②病院玄関前にあるバス停の改善を ③市道山松尾線の照明灯の設置を
8	加藤 和孝	1 子どもを産み育てやすいまちづくりについて 2 市税などの納付の利便性向上について 3 情報発信のさらなる取り組みについて
9	谷水 兼二	1 行政財産における稼働並びに削るについて
10	田中 将之	1 消防団の処遇改善と装備の拡充等について 2 甲賀ブランドの海外への展開について 3 被災者生活再建支援制度について
11	片山 修	1 環境美化の取り組みについて 2 延長窓口業務と時間外手当について
12	森田 久生	1 老朽化公共インフラ（社会資本）維持・管理対策と将来の財政面への影響について 2 小中学校の設備環境の改善について
13	橋本 恒典	1 地域市民センターの現状について 2 危険な通学路について
14	的場 計利	1 身近なところから地震防災対策と支援を
15	小西喜代次	1 台風18号での災害見舞金は全被災者に支給を 2 滞納債権の徴収は市民の立場にたって実施を 3 ホームレスへの緊急対応の制度化を求める 4 国道1号西名坂信号地点交差点のアンダーパス化を求める
16	山中 善治	1 ゴミ対策について 2 信楽高原鐵道復旧中の対応について
17	戒脇 浩	1 米飯給食の推進について 2 登下校時の安全確保について
18	竹若 茂國	1 市の将来計画について 2 財政運営について 3 幼児、児童、生徒の通学路の安全について

竹村 貞男

A

一名を採用し、法定雇用率を満たす

Q

甲賀市役所の障がい者雇用は



小河 文人

A

地域に取り組みを求め推進する

Q

今後、公共下水道からの転換は



公職選挙法メモ

議員が選挙区内にあるものに対して、寄付をすることはいかなる名義でも禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

中西 弥兵衛

Q 減少する団員の確保対策を問う

A ホームページやフェイスブックで啓発



消防団員が減少する中、「地域防災力充実強化法」が昨年12月成立したことを受け、消防庁は対策本部を設置して入団促進キャンペーンを展開している。本市の団員確保の状況とその対策を問う。

危険・安全管理統括監

合併当初1204名いた団員が現在は1187名となり17名の減少である。団員確保は重要な課題であり、区長や企業にも協力依頼をしながら、また、団員自らも積極的に勧誘活動をしていくという方針が、勤務形態の多様化等で入団を敬遠される方が増加している。今後、市のホームページ

田中 新人

Q 減反政策、5年後の廃止について

A 農家自らの経営判断で作物を作る



地域の農業を誰が担い、農地をどう集積するのかが、産業経済部長 持続可能な力強い農業実現のため、集落での話し合いをもとに今後の集落の農地を担う、中心となる経営体に農地を集積していく「一人・農地プラン」の作成により推進する。



待たれる草津線復線化

5年後に国が生産目標配分を止めるが、産業経済部長 米の消費が低迷する中、生産調整の見直しで農家自らの経営判断で作物を作る農業を実現する。

中退者や学校を卒業した無業者等の支援機関との連携は、健康福祉部長 中学校卒業時点で進路が決まっていない、進学し

草津線復線化の現在の取組状況は、総合政策部長 実現に向けて、利用者数の増加がJRから強く求められており、沿線での住宅開発や企業誘致等の取組が必要である。

貴生川駅・三雲駅間に設置予定の新駅は、総合政策部長 滋賀県

消防団員の新たな活動服



オレンジ色を多く配色

ポケットを増やす

後、市のホームページ

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 実

Q 「ふるさと納税」の考えは

A 理想郷「こうか」の実現で応える



制度化され5年が経過した「ふるさと納税」に対する市長の考えは、市長 ご寄付をいただいた方が、輝き続ける本市を願うことだと理解し、感謝をしている。最近ではふるさと納税に対して、見返りを求めるあまりに過剰な返礼が横行しているように見受けられるが、ふるさとへの思

いとともにご寄付をいただいていると認識しており、理想郷「こうか」の実現こそが、お気持ちに応えるものだと考える。



金融機関のディスクロージャー誌

会計管理者 リスク管理は金融機関の決算期及び中間期にディスクロージャー誌や決算情報などを収集し、情報の把握、分析を行っている。特に各金融機関の安全性や健全性を判断する基準のひとつである自己資本比率について、国内基準4パーセント以上、国際統一基準8パーセント以上の健全な経営を堅

林田 久充

Q 自治振興会の今後の展開は

A 地域活動への相談等支援を検討する



自治振興会の課題とは何か。特に行政からの立場、地域からの立場における具体的な声はどのようなものか。

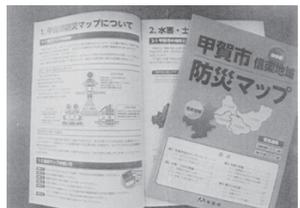
総合政策部長 地域の立場から見た課題は、自治振興会の認知度、事業への幅広い市民参加、組織の人材確保である。市としては、自治振興会活動の熱度、温度差、支援職員の地域との関わり方が主な課題と考えている。市職員も共に汗をかき、知恵を出し合いながら、住み良い地域づくりを推進する。

地域福祉のまちづくりは、地域の課題解決に直結するものであり、自治振興会でも取り組んでいただきたい課題である。必要に応じて、コーディネーター等への協力要請を行い、専門的な見地から、連携して地域活動へのアドバイスや相談等の支援ができるよう検討する。



自治振興会による子育て支援活動

大学。大学の知見を活かす必要はないか。市長 これらに関わる人々が、力を合わせて地域の活力ある食と農のまちづくりにつなげたい。また、大学との連携についても、前向きにぜひ検討したい。



ふるさと納税によって作られた防災マップ

ふるさと納税によって作られた防災マップ

維持管理の強化について関係機関に働きかけ

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山岡 光広

Q 新甲賀病院バスダイヤ等改善を

A 4月から一日フリー乗車券発行



問 新甲賀病院開院から1年。①コミバスダイヤや乗継券の改善。②雨や雪の日は病院前バス停のベンチがびしょ濡れ、改善を。③市道山松尾線の防犯灯を。 **総合政策部長** ダイヤ改善は難しいが、1日フリー乗車券も500円という「一日フリー乗車券」を発行し利便性を図る。バス停改善は病院に働きかける。 **市民環境部長** (防犯灯は) 順次整備する。



甲賀病院のバス停

問 ①甲南希望ヶ丘小の「わくわく」や甲南第一の「そまっ」児童クラブの待機児童対策。 **法改正により対象児童が小3から小6まで拡大されることに対する対応は。** **健康福祉部長** 「わくわく」は増築で、「そまっ」は空き室で対応。法改正に伴い条例やガイド

問 ①特別支援を要する子どもの急増。小中、就学前の実態は。 **親子療育活動「こじか教室」の拡充を。** **教育部長** 特別支援学級は319名、通常学級で特別支援を要する子どもは867名。年々増加。加配教員を配置して対応。 **健康福祉部長** 必要は見直しの時期に来ている。今後、対応検討。



再問 施設改善はされたが、職員配置とその処遇、夏休み時の対応は課題。早急に改善を。 **健康福祉部長** 対応する。

問 ①人工授精などの一般不妊治療にも公費助成を行う考えは。非婚のひとり親に婚姻歴のあるひとり親家庭との格差が生じないよう、寡婦控除の「みなし適用」をする考えは。 **市長** 一般不妊治療につき、県の動向や近隣の状況等も考慮しながら助成の必要性について検討する。寡婦控除のみならず適用については、所得税法の寡婦の定義に非婚を含める等の改正により対応することが望ましい。



鯖江市のオープンデータを用いたコミバスの運行表示

加藤 和孝

Q 一般不妊治療にも公費助成を

A 助成の必要性について検討する



問 固定資産税の納付回数に定着しており、改修等にかかる経費を考慮すると、毎月納付には十分な検討が必要。クレジット収納等については、次期基幹システム更新に合わせ導入できないか考える。

問 行政情報を誰もが利用できるオープンデータとして公開してはどうか。甲賀市ホームページで行政情報や観光情報等を動画配信してはどうか。

議員は選挙区内にお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

谷永 兼二

Q 人材を活かすことが大事だが

A 意欲を持って働ける環境を作る



問 施策の取り組みとして稼ぐ・削る・守るをキーワードとしているが、考え方に変化はあるのか。 **市長** 優先すべきは命の尊厳であり、市民の安全・安心である。財政の改善に努め、教育や福祉を後退させてはならないという姿勢で臨んできた。この考えは自立した自治のために不可欠な要素であると考え、これから先も

問 一貫して何ら変わるものではない。活かすことが大事で、施設や制度、何よりも人材である。それが行政サービスの向上、市民の幸せの美感につながるものと思う。メンタル的な長欠を未然に防ぐ対策は。 **市長** 専門相談員・管理職による個人相談・面談の実施。重要なことは職場内の常日頃からのコミュニケーションのコミュニケーションを深めることだと考えている。

問 甲賀市には世界に誇る地域資源、土山や朝宮のお茶、甲賀の水をいかけた日本酒、そして伝統工芸に指定された信楽焼がある。昨年には「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、来年のミラノ万博のテーマは「食」であり、世界的

問 甲賀市には世界に誇る地域資源、土山や朝宮のお茶、甲賀の水をいかけた日本酒、そして伝統工芸に指定された信楽焼がある。昨年には「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、来年のミラノ万博のテーマは「食」であり、世界的



問 職員のモチベーションの向上は。 **総務部長** 人材育成型の人事評価、定期的な人事異動、活き生き職場ムーブメントの実践、新たに資格取得へ

問 職員のモチベーションの向上は。 **総務部長** 人材育成型の人事評価、定期的な人事異動、活き生き職場ムーブメントの実践、新たに資格取得へ



朝宮茶と信楽焼のうつわ

問 甲賀市には世界に誇る地域資源、土山や朝宮のお茶、甲賀の水をいかけた日本酒、そして伝統工芸に指定された信楽焼がある。昨年には「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、来年のミラノ万博のテーマは「食」であり、世界的

田中 將之

Q 甲賀地域ブランドの海外展開を

A 国等の支援制度を研究・検討する



問 甲賀市には世界に誇る地域資源、土山や朝宮のお茶、甲賀の水をいかけた日本酒、そして伝統工芸に指定された信楽焼がある。昨年には「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、来年のミラノ万博のテーマは「食」であり、世界的

問 甲賀市には世界に誇る地域資源、土山や朝宮のお茶、甲賀の水をいかけた日本酒、そして伝統工芸に指定された信楽焼がある。昨年には「和食」がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、来年のミラノ万博のテーマは「食」であり、世界的

議員は選挙区内のお祭りへの寄付や差し入れが禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

片山 修

Q 空き地、雑草等に関する条例制定はよく研究し効果的な対策を考える

A 空き地の草刈りなどの環境保全に対し、罰則規定を設けたり、行政代執行を行ったりして一定の強制力を持たせた環境美化条例や、空き地の管理適正条例の制定が必要ではないか。



森田 久生

Q 老朽化が進む「甲賀支所」新築計画は平成28年度を目途に新築整備する

A 今後益々老朽化が進む、公共インフラ維持管理対策への全体認識は。市長 小中学校耐震工事や、橋梁長寿命化修繕を実施してきた。引き続き計画的に取り組み、当市における主な公共インフラの管理現



問 空き地の草刈りなどの環境保全に対し、罰則規定を設けたり、行政代執行を行ったりして一定の強制力を持たせた環境美化条例や、空き地の管理適正条例の制定が必要ではないか。

市民環境部長 最近では、環境等に係るいわゆる理念条例を一步進め条例により勧告・命令、また、命令に従わない場合の罰則規定を設けている自治体もあるが、現実的にはなかなか罰則規定の適用ができていない状況である。このため、強制力を伴う条例については、先進事例や地域コミュニティとの関わり等をよく研究して、最も効果



荒れ放題になっている空き地

問 延長窓口業務の現状は、それに絡む時間外手当はどうか。

市民環境部長 昼間来庁できない方も市民窓口をご利用いただけるよう、平成21年7月から延長窓口業務を開始している。昨年度は630名、本年2月末まで725名の方が利用されて年々少しずつ増



延長窓口業務の対応。市民課にて

問 今後益々老朽化が進む、公共インフラ維持管理対策への全体認識は。

市長 小中学校耐震工事や、橋梁長寿命化修繕を実施してきた。引き続き計画的に取り組み、当市における主な公共インフラの管理現



老朽化が進む(旧)甲賀大原地域市民センター

建設部長 橋梁167橋につき、今後50年間長寿命化修繕計画を策定し計画的に修繕を行う。

問 老朽化維持管理対策費用の財政への影響は。

総務部長 現在、総予算に占める修繕費割合は、12%（約4億円）であるが、今後の割合は年々高くなる。計画的に進める。

問 小中学校普通教室への冷暖房設備新設に関する各層の考えを伺う。

市長 小中学校は、天井吊り下げ扇風機を新設し一定の効果を見たが、近年の異常気象を考慮し、教育委員会で検討願う。

教育長 現状、扇風機対応としているが、今後は大規模改修事業の中で、冷暖房設置も検討する。

教育委員長 近年の異常気象もあり、子どもの安心・安全の観点から対応策を十分に検討したい。

議員や後援会が選挙区内に有料の挨拶広告を出すすと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 恒典

Q 地域市民センターの今後の方向性は

A 市民サービスを身近なところで



問 地域市民センターの現状と今後の方向性は。

総合政策部長 自治振興会の支援を中心に概ね小学校区の範囲で23ヶ所設置している。市民の身近なところで地域づくりを進めていくことは大切で現在の仕組みを継続していく。



業務を旧公民館に移した甲賀大原地域市民センター

問 地域市民センターの窓口業務を本庁職員がサポートできるシステムの検討は。

総合政策部長 地域情報整備整備事業において市独自のネットワーク網の完成に伴い、窓口に来られたお客様が直接やりとりできるシステムを調査・研究していく。

問 旧支所の地域市民センターは来年度から整備に向け具体的な検討を行われるが、旧支所以外の地域市民センターの整備は。

総合政策部長 油日地域市民センターの移転に伴いJAの施設の借用はあと3ヶ所で、適法にかかる国との協議を進め公共施設等へ移設する方向で進める

問 通学路の安全対策の取り組みと成果は。

教育部長 学校と連携しながら合同点検や安全マップの作成を行った。点検後は危険度の高い箇所から対策を行った他、危険箇所には啓発用看板を設置している。



通学路の看板の設置を進める大型車

計利 的場

Q 地震の際、遊戯室のピアノは安全か

A 倒れないよう対策を行う



問 小中学校の耐震工事は完了し、保育園などの公共施設も順次進められる。これで安心!! いや、灯台下暗し。建物対策ができても屋内備品の倒壊防止等ができていなければ危険。大丈夫か。

総務部理事 備え付け備品以外は固定できていない。ピアノについても耐震防振インシュレータ導入など、順次早急に固定化する

問 一般家庭における現状は。また、地震に関連する火災の60%は電気起因する。再通電による火災発生を防ぐための「感震ブレーカー」の普及啓発については如何か。

安全安全のまちづくりを目指す本市としても積極的に取り組み活用の方で検討する。

問 静岡県地震防災センター視察で、家中や周辺の危険箇所を話し合ったり、行政施設などで安全管理のチェックリストとして活用できるリーフレットを知った。万一の時の備えとして取り組んでは如何か。

危機・安全管理統括監 地震を想定しての危険箇所・避難経路等の確認は非常に有効である。



「家族みんなで、わが家の危険度チェック」

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

橋本 恒典

Q 地域市民センターの今後の方向性は

A 市民サービスを身近なところで



問 地域市民センターの現状と今後の方向性は。

総合政策部長 自治振興会の支援を中心に概ね小学校区の範囲で23ヶ所設置している。市民の身近なところで地域づくりを進めていくことは大切で現在の仕組みを継続していく。



業務を旧公民館に移した甲賀大原地域市民センター

問 地域市民センターの窓口業務を本庁職員がサポートできるシステムの検討は。

総合政策部長 地域情報整備整備事業において市独自のネットワーク網の完成に伴い、窓口に来られたお客様が直接やりとりできるシステムを調査・研究していく。

問 旧支所の地域市民センターは来年度から整備に向け具体的な検討を行われるが、旧支所以外の地域市民センターの整備は。

総合政策部長 油日地域市民センターの移転に伴いJAの施設の借用はあと3ヶ所で、適法にかかる国との協議を進め公共施設等へ移設する方向で進める



通学路の看板の設置を進める大型車

問 通学路の安全対策の取り組みと成果は。

教育部長 学校と連携しながら合同点検や安全マップの作成を行った。点検後は危険度の高い箇所から対策を行った他、危険箇所には啓発用看板を設置している。

計利 的場

Q 地震の際、遊戯室のピアノは安全か

A 倒れないよう対策を行う



問 小中学校の耐震工事は完了し、保育園などの公共施設も順次進められる。これで安心!! いや、灯台下暗し。建物対策ができても屋内備品の倒壊防止等ができていなければ危険。大丈夫か。

総務部理事 備え付け備品以外は固定できていない。ピアノについても耐震防振インシュレータ導入など、順次早急に固定化する

問 一般家庭における現状は。また、地震に関連する火災の60%は電気起因する。再通電による火災発生を防ぐための「感震ブレーカー」の普及啓発については如何か。

安全安全のまちづくりを目指す本市としても積極的に取り組み活用の方で検討する。

問 静岡県地震防災センター視察で、家中や周辺の危険箇所を話し合ったり、行政施設などで安全管理のチェックリストとして活用できるリーフレットを知った。万一の時の備えとして取り組んでは如何か。

危機・安全管理統括監 地震を想定しての危険箇所・避難経路等の確認は非常に有効である。



「家族みんなで、わが家の危険度チェック」

後援会が選挙区内に花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

問 登下校時は学校管理下か。

答 学校監督下であり、管理下ではない。学校保健安全法上、通学指導・安全指導を役割と考えている。

問 安全上、学校が左側通行を指導する場合がありますが、これらの指導を家庭と共有することが重要と考えているが、どのように図っているか。

答 安全指導は年間計画に基づいて実施しており、校報等を通じて家庭に知らせている。

問 市当局には、事故の起こりにくい道路に責任があると思うが整備の考え方は、建設部長、警察、教育委員会を始め、PTA

や地域の声を反映させながら迅速に対応する。教職員による、点検はどのように行っているか。

答 PTAとの合同点検などにより、危険箇所の把握を行い、通学マップの作成を通じて共有を図っている。

問 学校も保護者も互いの責任を果たさなければならぬが、保護者の責任の位置づけは、教育長、教育基本法また民法上において「安全確保の責任」は第一義的と保護者にあると解釈できるが、保護者が全てを負うことには限界



危険いつばいの通学路

があり、それぞれが協働して安全確保に努めることが重要であると考ええる。

問 国の通達によるアクションプランの策定は、

答 まず交通安全対策連絡協議会の立ち上げを始めとする安全対策に取り組む。

問 10周年を機に中嶋カラーを押し出しては、

答 均衡ある発展を目指し誠実に正々堂々と本市の理想とする姿を追求したい。

問 草津線の複線化を不断の決意を持って進めてほしい。

答 リニア新幹線計画に合わせた中部圏を視野に入れた草津線の複線化は、本市の発展に欠かせない。思を中心に沿線住民の声を一つにして、あらゆる機会を通じ積極的に進める。

問 新庁舎一元化ではなく、甲南庁舎を行政の拠点施設に活用できないか。

答 平成29年度に本庁移転の後に、甲南

庁舎を改修し、甲南地域の市の出先機関を集約、市内公共団体の意向を開き市民スペースとして活用したい。

問 人口減少社会、少子、超高齢社会にあつて、将来の高齢者医療などの費用の見直しは、

答 2030年は、人口8万2千人台、高齢化率30・9%と推定される。企業誘致や優良住宅地の供給、子育て支援の充実をはかり、若年層の定住化を目指す。社会保障費は増加傾向が続くため、財政健全化の取り組みに努める。

問 児童、生徒の通学路の安全について、

答 スクールガード、保護者、地元



安全な通学路

選挙区内の有権者が威迫あるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。

戎協 浩

A

対策協議会を立ち上げ取り組み

Q

登下校時の安全確保について



竹若 茂國

A

オール甲賀の理想郷を追求したい

Q

甲賀市の都市づくりの具現化は



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小西喜代次

A

住民票がない場合は支給しない

Q

災害見舞金は全被災者に支給を



問 台風18号での災害見舞金が、住み家でも市内に住民票がない方や、店舗の被災者に支給されていない。県の生活再建支援金は被災者全員を対象にしている。見舞金という性格上、被災者全員に支給すべきではないか。

市長 要綱に定める「市内に居住する者が住家に被害を受けたとき」を基本に判断した。現行制度の基本は変えない。

問 滞納の徴収は市民の立場にたった執行が必要。差し押さえまでの手順はどうか。

総務部理事 差押予告書は行っていない。督促状や催告書に、滞納処分を受けることとなる旨を明記している。

問 滞納を「執行停止や猶予」することができ、窓口での具体的な対応はどうしているのか。

総務部理事 生活保護受給者と同等の生活状態と判断した場合には、執行停止を行う。

問 ホームレスの宿泊場所や食事など緊急対応の制度化を求め

健康福祉部長 県が確保している緊急一時的宿泊施設で対応できている。今後は、民間アパートや旅館の協力など更に検討する。

問 国道1号西



国道1号西名坂信号地点交差点

名坂信号地点交差点のアンダーパス地下道化を求める。

建設部長 事業主体国がやらないと決定。市独自のアンダーパス化は考えていない。

山中 善治

A

運休期間中を好機と捉まえ推進

Q

高原鐵道の利用客離れ防止策は



問 リサイクル率などごみ対策について。

市民環境部長 リサイクルの進んでいない品目は、低いものから可燃性ごみ0%、小型家電を含む不燃粗大ごみ38・1%、廃プラスチック類69・2%である。本市の24年度のリサイクル率の実績は、全国平均の20・8%を上回り22・2%である。

問 リサイクル推進の対策は。

市民環境部長 一番重量のある可燃ごみの削減が重要であり、分別啓発に力を入れる。

問 市民との協働について。

市民環境部長 全国でも数少ない生ごみのリサイクルの成功事例



工事中の信楽高原鐵道

「生ごみ堆肥化事業」を展開している。平成26年1月で市内の約4分の1にあたる、8、734世帯が加入。さらなる参加を促す。

問 信楽高原鐵道、利用客離れ防止策は。

総合政策部長 災害発生当時には、柳川橋梁の流出や法面崩壊などの被災状況が、テレビや新聞などで広く取り上げられた。また早期復興を願う信楽高校や地域住民の皆様による署名・募金活動なども報道され、広く多くの方の関心が

本市に集まっている。この運休期間を好機と捉まえ、さらなる集客力の向上と運行再開を見据えた新たな事業展開を推進する。市制10周年に相応しい事業の検討も進める。

選挙区内の議員に対し、寄付を出すように勧誘や要求をすることは禁止されています。



組合議会の動き

甲賀市
行政協議会

平成26年度一般会計予算など 7議案を審議

3月27日に平成26年度第1回定例会が開催され、上程された平成26年度一般会計予算を始め7議案を審議しました。

平成26年度一般会計予算
新年度予算は32億1,878万9千円で、前年度に対し207万円の減です。

歳出の主な内容については、衛生費では衛生センターのし尿処理・汚泥再生処理施設とごみ処理施設の管理運営に係る予算等が計上されていますが、公共下水道の進捗により、し尿の搬入量は年々減少しています。ごみ処理施設では、平成24年度から行っている白煙防止用空気予熱器改修工事の最終年度となります。

消防費では消防職員192名分の人件費が計上されており、消費全体の約85%を占め

ています。また、高規格救急自動車購入の予算も計上されました。採決の結果、全員賛成で可決されました。

消防救急デジタル無線整備工事請負契約締結
平成28年5月31日までのデジタル化に向けて取り組んでいる同整備工事の一般競争入札が行われ、北陸通信工業(株)滋賀営業所が落札されました。契約額は4億5,900万円で、採決の結果、全員賛成で可決されました。

(文責 橋本恒典)



特別委員会の動き

庁舎整備特別委員会

甲賀市役所庁舎整備については平成25年度に基本設計が完了し、29年度中の完成をめざして計画が具体化されています。

12月議会で設置された庁舎整備特別委員会は、この間、1月10日、1月27日、3月11日に委員会を開催し、庁舎整備に至る経過をふまえて、市民や職員、議会の意見や提案を基本設計にどう生かしていくのかを中心に議論を深めてきました。また、甲南庁舎や土山・甲賀・信楽の各庁舎のあり方についても一体で考えるべき、との立場から今後の整備計画について審査してきました。

現市役所本庁は、昭和40年に建設されたもので、手狭であるうえ耐震基準も満たしていません。東日本大震災の教訓から防災拠点機能の強化をはかることも、分散している市役所機能を統一すること等を軸に、庁舎整備検討委員会(23年7月から24年3月)で基本構想を策定、その後来庁者アンケートや市職員・市民ワークショップなどでの意見をふまえて、基本設計が具体化されたものです。



信楽高原鉄道特別委員会

平成25年9月に発生した台風18号による袖川鉄橋流失や、線路法面崩壊などの復旧工事は、平成26年第2回甲賀市議会定例会において3億7千260万円で大鉄工業(株)との請負契約締結に関する議決を全員賛成で可決しました。(費用負担割合は、国1/4、県1/4、市1/2です)が、国の交付税措置により市の実質的負担は概ね5%の見込み)これにより今年の12月運行再開に向けての本格的な復旧工事に着手されました。

4月7日に信楽高原鉄道対策特別委員会を開催し、執行部、信楽高原鉄道株式会社幹部の出席を求め、袖川橋梁復旧工事の進捗状況や運行再開後の利用促進などの取り組みについて説明を受けました。

川の増水期までの6月中旬を目途に橋脚工事を完成させ、10月に架橋、11月には試運転、12月に運行再開を目指す。再開日については橋脚工事が完成した時点で決定するとの事です。

又、利用促進計画については、地元信楽の関係者が中心となって観光振興策など鋭意検討されており、今年6月には一定の方向が示される予定です。



工事中の信楽高原鉄道

公立甲賀
病院組合
協議会

平成26年、第1回定例会 開催される

3月27日、第一回の公立甲賀病院組合議会の定例会が開催され、平成26年度の甲賀病院組合一般会計予算(歳入・歳出それぞれ2440万5千円)及び平成26年度甲賀病院事業会計予算の他、3条例の一部改正についての審議がなされ、いずれも原案どおり可決されました。当病院については新築移転後約1ヶ年が経過する中で、富永院長から清

水院長に替わり今日まで大きなトラブルもなく、ますます順調に運営されているとのことです。

今後は利用者から寄せられている多くの苦情や山積している諸課題に積極的に対応しつつ、甲賀病院の理念である「個人の人格を尊重し思いやりの心をもって信頼される全人的医療を実践します」にもとづき、地域から愛される病院をめざして取り組まれます。

(文責 中西弥兵衛)



旧病院広場の「春の桜まつり」

前号平成26年2月1日号、P23公立病院議会の記事で、**Gマツト**は**DMAT**の誤りです。訂正してお詫びします。

議会活動報告(1月~3月)

1月9日	広報特別委員会	編集会議
1月10日	庁舎整備特別委員会	
1月15日	信楽高原鉄道対策特別委員会	
1月15日	議会運営委員会	
1月16日	文教常任委員会	
1月17日	広報特別委員会	編集会議
1月20日	本会議	臨時会
1月23日	静岡県湖西市議会視察受入	
1月23日	庁舎整備特別委員会	
1月30日	産業建設常任委員会	
2月5日	愛知県美浜町議会視察受入	
2月13日	民生常任委員会	
2月19日	議会運営委員会	
2月21日	総務常任委員会	
2月24日	本会議	議案上程
2月25日	本会議	議案上程
3月3日	本会議	代表質問

3月5日	本会議	議案審議・採決・付託
3月7日	本会議	一般質問
3月10日	広報特別委員会	編集会議
3月10日	議会運営委員会	一般質問
3月11日	庁舎整備特別委員会	
3月12日	本会議	
3月13日	予算特別委員会	一般質問
3月14日	予算特別委員会	
3月17日	予算特別委員会	
3月18日	予算特別委員会	
3月20日	総務常任委員会	
3月20日	民生常任委員会	
3月20日	文教常任委員会	
3月20日	産業建設常任委員会	
3月25日	福井県鯖江市議会視察受入	
3月26日	本会議	委員長報告・討論・採決

中西・辻議員が表彰

平成25年度において、中西弥兵衛議員、辻重治議員が、県市議会議長会より市議会議員として通算10年以上(町議は2分の1に換算)在籍されたことに対して特別表彰されました。



議会改革推進特別委員会

議会改革推進特別委員会が設置される
昨年9月、議会が可決された甲賀市議会基本条例の目的が達成されているかどうかの検証と調査研究を行います。



前列左 加藤委員長 右 谷永副委員長
後列左から 的場・安井・田中実・林田・片山各委員

「ええとこ」 Vol.10
「こうか再発見」

市内の花の名所

花の名所シリーズ2回目です。広報委員が分担して紹介しています。
市民のみなさんからの情報提供、紹介もお待ちしています。



甲賀町滝

「滝の里山」に咲くササユリ
「滝区ササユリの里づくり」3世代のメンバーが育てている、「甲賀市の花：ササユリ」です。見頃は6月中旬です。



水口町北内貴

みなくち子どもの森園内のフジ
5月には、木々の間から淡い紫のフジやエゴノキ、モチツツジ等の花が見られます。



甲南町市之瀬

「辛夷(こぶし)」の花

山地に自生する落葉の樹木。早春に他の木々に先駆けて白い花を梢いっぱい咲かせる。別名「田打ち桜」

信楽町牧

信楽高原鉄道沿線のヤマツツジ

信楽の山肌に咲くヤマツツジ。濃いピンク色の小さな花は、ゴールデンウィークあたりが見ごろです。



土山町前野

瀧樹神社のユキワリイチゲ

神社に群生しており、満開は春分の日の頃で花言葉は「幸せになる」とのこと。この花はレッドデータ危惧種で希少野生植物です。



編集後記

◆新しい議員として議会だよりの作成に参加していますが、悩みは市広報との違いをどう表現するかです。その違いは、執行部の政策や施策に対して見えてきた論点を、市民の皆様にはっきりとお伝えることではないかと思えます。また、議員同士の議論の結果、よりよい事業、制度となるために議会として何を意思決定し、執行にあたってどのような点に留意するよう提案したのかを問われているのではと感じています。まだまだ、工夫の余地があります。議会の風土を感じていただけるよう変化していきたいものです。
(広報特別委員会副委員長 林田久充)

6月議会の予定

- 6月5日(木) 本会議 (第1日)
- 6月12日(木) 本会議 (第2日)
- 6月13日(金) 本会議 (第3日) 一般質問
- 6月16日(月) 本会議 (第4日) 一般質問
- 6月17日(火) 本会議 (第5日) 一般質問
- 6月19日(木) 本会議 (第6日) 一般質問予備日
- 6月20日(金) 委員会
- 6月23日(月) 委員会予備日
- 6月25日(水) 本会議 (第7日) 最終日

カメラの



4月9日、水口幼稚園で、入園式が行われました。無邪気でかわいい子どもたちと、喜びとともに少し心配な保護者のみなさん。

園長先生のやさしい言葉と参加された方々のあたたかな眼差しの中で、未来を担う子どもたちが元気で健やかに育ってくれることを願っています。

(写真撮影：戎脇 浩)